

巨峰・長野パープル

情報提供：長野県千曲市在住 F 様 (71124) 2015 年 11 月 4 日

スーパーER で土壌改良をしっかりとすることで、殺菌・殺虫剤を一切使用しないで栽培できました。

特 長

- 殺菌・殺虫剤を使つての消毒を一切しないで栽培できました。
- 甘味比・苦味・渋みのバランスが抜群で最高級の評価をいただきました。
- 品質条件であるブドウの表皮ブルームがしっかりと付着していました。
- 巨峰は色が黒々としていて、ツヤが非常に良いです。
- 長野パープルは、皮がはじけやすい品種ですが、スーパーER で栽培すると、はじけるものが少なく、非常に歩留まりが良いです。

栽培地状況

- 長野県の北信部で、長野市と上田市の間に位置します。
- 露地栽培で4ヶ所の合計が85アールです。

施用状況

<2015年～>

	日付	希釈倍率	施用面積	施用量
土壌灌水 作物への散布 ※1	3/ 28	1000倍	60アール	600ℓ
土壌灌水	6/ 13			800ℓ
土壌灌水 作物への散布	7/ 6	500倍		500ℓ
	7/ 21・22			
	8/ 14		28アール	
収穫時期	9/ 1 ~ 10月末			

※1 芽出しの時期に、土壌灌水とツルへの散布を同時にしました。

生産者の声

- 「味よし、色よし、日持ちよし」の3拍子の高結果は初の経験です。
- スーパーER の使用を継続し ①今後は無農薬栽培 ②ぼかし・有機の発酵肥料の使用を大前提に土作り ③「安心・安全で美味しいが当たり前」の農業経営、農業法人 の3つを目指します。

◆ご使用にあたってのポイント

- ・ 今回の結果はスーパーERを使用する事により、肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まったと考えられます。その為、好結果が出た後の土壌中の肥料分は多量に消費されておりますので、来年度の土壌への施肥は充分に行う必要があります。
- ・ スーパーERの過剰使用は一時的に良い結果が現れますが、後に何らかの弊害が出る可能性もありますので、施用方法に従い使用をしてください。
- ・ スーパーERの使用で、土壌の微生物の環境が整い、微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられる場合があります。
- ・ これらの現象は、農薬等の作用とは全く異なるもので土壌環境等の調整であり、スーパーERは農薬でも特定農薬でもありません。